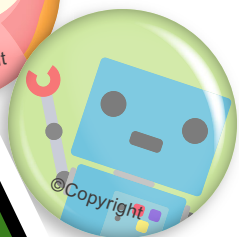
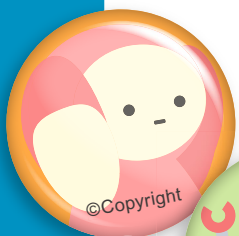
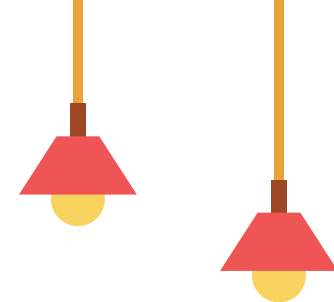


人気キャラクターの魅力を生かす！

ライセンスグッズ製作 ビジネス参入の 手順とポイント



はじめに



アニメや漫画、ゲームなど、多くの人を楽しませる新しい文化は、日本の代表的な輸出産業の一つに数えられるようになりました。それを受け、キャラクタービジネス市場、ライセンスグッズビジネス市場は年々拡大を続けています。

一方でライセンスグッズ製作は、ライセンスの取得に始まり、さまざまな制約があります。とくに納期や品質管理など、厳しい条件をクリアしなければなりません。ライセンスグッズビジネスの参入にあたっては、その他のグッズ製作とは異なる点が多いことを理解しておく必要があります。

本Ebookでは、そうしたライセンスグッズ製作の特徴や注意点を把握し、スムーズなビジネス展開を実現するための情報を提供します。ライセンスグッズ製作をスタートするための準備としてぜひご一読ください。

もくじ

はじめに	01
ライセンスグッズビジネス市場の現状、参入のメリット	02
ライセンスグッズビジネスの基本	03
ライセンスグッズをつくるには①製作体制の準備	04
ライセンスグッズをつくるには②ライセンス契約	05
ライセンスグッズをつくるには③デザインと製作	06
ライセンスグッズビジネスの注意点と成功のポイント	07
ライセンスグッズ向けの定番ラインナップ	08
ハイクオリティな缶バッジ製作は「バッジマンネット」をご利用ください	09
まとめ	10

ライセンスグッズビジネス市場の現状、参入のメリット

初めにライセンスグッズ需要の高まりについて、市場の現状から紹介します。

市場動向

近年の市場規模

矢野経済研究所の調査によると、2023年度のキャラクタービジネス市場は前年度比101.4%の2兆6,508億円と予測されています。キャラクタービジネスとは出版や広告宣伝に使われる著作権と、商品に付帯してキャラクターを使用する商品化権で構成されています。

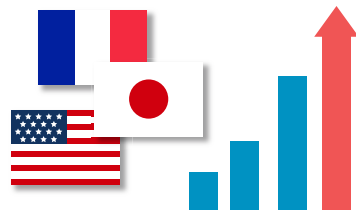
2022年度の商品化権市場（小売金額ベース）は、前年度比101.4%の1兆2,736億円でしたが、今後もそれをさらに上回る市場の拡大が期待されます。

今後の需要予測

過去10年の市場動向を見てもキャラクタービジネスは着実に増加しており、消費拡大傾向にあることがわかります。物質的に豊かな現代社会のなかでは消費者行動がモノからコトを重視する傾向が強くなっており、自身の興味や関心のあるものにお金を使う人が増えています。

新作、旧作を問わず魅力あるキャラクターに関するグッズには、長期間にわたって国内外からの大きな需要があります。

こうした傾向は、若い世代を中心として幅広く見られ、今後もキャラクタービジネスが有視される大きな要因となっています。



参入のメリット

新たな販路の確立

キャラクターグッズは、アニメやゲームなどのコンテンツのファンを中心に、専門店やインターネット通販など、従来とは異なる販路で販売されるケースも多く見られます。そのため、キャラクターグッズビジネスに参入することで、これまで自社では扱いのなかった新たな販路を開拓することも可能です。

売上の増加

キャラクターは、子どもから大人まで幅広い層に人気があるため、キャラクターグッズを販売することで、幅広い層の顧客にアプローチすることができます。キャラクター人気は直接的な売上に貢献し、人気キャラクターであれば、長く販売し続けることで、継続的な収益が見込めます。季節やトレンドに合わせて、新しい商品を開発することで、新たな需要の喚起も可能です。

ライセンスグッズ製作の実績と信頼の確立

一度ライセンスグッズ製作の実績を獲得すれば、比較的その仕事が継続しやすいというメリットもあります。ライセンスグッズの製作にあたっては、著作権者（ライセンサー）が要求する厳しい品質基準をクリアする必要があります。一方で著作権者にとっては、基準をクリアできる製作事業者を選定することが毎回の課題になります。こうした事情からいったんライセンスグッズ製作を許可された事業者は著作権者からの信頼が得られ、継続的にキャラクターグッズ製作を受注できる可能性が高くなります。

ライセンスグッズビジネスの基本



ライセンスグッズビジネスに参入するにあたり知っておくべき基本情報を解説します。

■ ライセンスグッズビジネスとは？

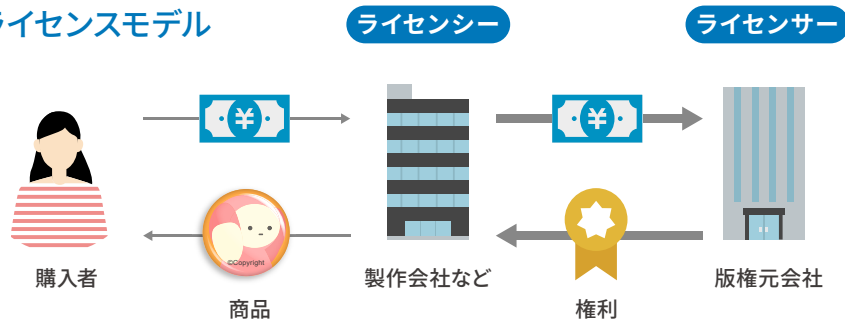
著作物や商標の権利を持つ個人や団体（ライセンサー）が、製造工程や製造ラインを持つメーカー（ライセンシー）とライセンス契約を結び、ブランドやキャラクターなどの知的財産の使用権をライセンシーに許可することで、双方の利益を図るビジネスモデルです。

■ ライセンスグッズビジネスの基本構造（仕組み）

ライセンサーはライセンス契約を通じ、ライセンシーに知的財産権の使用を許諾する対価として、ロイヤリティを受け取ります。ロイヤリティは、ライセンシーの売上高に応じて支払われる場合や、定額で支払われる場合があります。

ライセンシーは、ライセンサーの許諾を得て、知的財産権を活用した商品やサービスを開発・販売することができます。ライセンシーは、ライセンサーの知的財産権を使用することで自社の商品やサービスを差別化したり、ライセンサーのファン層を新規顧客として取り込んだりすることができるようになります。

ライセンスモデル



■ 把握しておくべき権利

著作権

著作物（文学、音楽、美術、映画、写真、コンピュータプログラムなど）の創作に伴って発生する権利です。著作権には、複製権、翻訳権、上演権、演奏権、改変権、二次的著作物の利用に関する権利などがあります。ライセンスグッズビジネスにおいては、著作権の複製権や翻訳権、改変権などが、ライセンス契約の対象となることが多く見られます。

商標権

商標（商品や役務を表す記号や標章）の独占的な使用権です。商標権には、登録商標権と未登録商標権の2種類があり、登録商標権の方がより強い権利となります。

商品化権

著作物や商標を商品化するための権利です。商品化権は、著作権法や商標法に明示的に規定されているわけではなく、民法上の契約によって定められます。

著作権

著作物や商標を出版や映像化などの二次利用するための権利です。著作権は、商品化権と同様に民法上の契約によって定められています。

ライセンスグッズをつくるには ① 製作体制の準備



まずは、ライセンサーとライセンス契約を締結するための体制づくりが必要です。

法的事項の確認

ライセンスグッズビジネスにおいては関連法規の遵守が不可欠です。具体的には、以下の点に注意が必要です。

- ✓ 著作権法や商標法などの関連法規の概要を理解する
- ✓ ライセンス契約の条件と関連法規が矛盾していないか確認する
- ✓ 関連法規の遵守を担保する体制を整える



企業としての実績と信頼性の確保

ライセンサーは、ライセンシーの企業としての実績や信頼性を重視するため、ライセンスグッズビジネスに参入する際には、自社の企業としての実績と信頼性を確保しておくことが重要です。また個人レベルではなく組織レベルで信頼性を守って運用できる体制・教育が求められます。具体的には、以下の点に注意が必要です。

- ✓ これまでの実績をアピールする
- ✓ 信頼できる取引先や顧客を持つ
- ✓ 財務面の安定性をアピールする



生産能力と品質管理能力の確立

契約に際して高品質な製品を安定的に供給できる能力を求められるため、生産能力と品質管理能力を確立しておくことが重要です。具体的には、以下の点に注意する必要があります。

- ✓ 生産設備や人員を整備する
- ✓ 品質管理体制を構築する
- ✓ 品質管理の基準を定める



財務面の準備

ライセンス契約に基づく義務を履行できる財務的な安定性を持っていることも重要な条件です。

- ✓ 十分な資金を準備する
- ✓ 財務状況を良好に保つ



ライセンスグッズをつくるには ②ライセンス契約



ライセンス契約にあたって行うことを解説します。

市場調査

市場調査を行うことで、ライセンス契約の成功の可能性を判断することができます。具体的な調査内容は以下のとおりです。

- ✓ **ライセンス対象の知的財産の知名度や人気**
- ✓ **ライセンス対象の知的財産のターゲット層**
- ✓ **ライセンス対象の知的財産の周辺市場の規模や成長性**

市場調査を行う方法には、主に以下の2つがあります。

インターネットや書籍
などの二次情報の収集

アンケートやインタビュー
などの一次情報の収集

ライセンサーとの交渉

市場調査の結果を踏まえて、ライセンサーとライセンス契約の条件について交渉を行います。具体的な条件としては、以下があります。

- ✓ **ロイヤリティの支払い方法や額**
- ✓ **ライセンシーの販売権限**
- ✓ **ライセンサーの品質管理権限**
- ✓ **契約期間**



ライセンサーとの交渉では、自社の利益を確保しながら、ライセンサーと良好な関係を構築することも重要です。

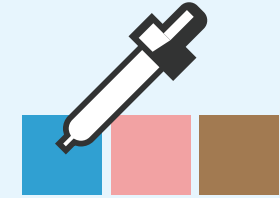
ライセンス契約の条件や使用権の範囲、契約期間の合意

ライセンス契約は、両当事者の合意によって成立するものであり、双方の合意がなければ、ライセンス契約を締結することはできません。合意形成に向けては、右記のような点に留意します。

- ✓ **ロイヤリティの支払い方法や額については、自社の利益を確保できるように定める**
- ✓ **販売権限については、自社の事業を展開するために必要な権限が得られるように定める**
- ✓ **品質管理権限については、ライセンサーのブランドイメージを損なわない範囲で定める**
- ✓ **契約期間については、自社の事業計画に合わせて定める**

ライセンス契約は、ライセンスグッズビジネスの成功を左右するため、締結する際には慎重に検討し、自社にとって有利な条件を獲得することが、ビジネス上重要なポイントとなります。

ライセンスグッズをつくるには ③ デザインと製作



ライセンスグッズを実際に製作する工程について解説します。

(キャラクター、ロゴなど)

対象コンテンツの特性を活かしたデザインの作成

ライセンス対象のコンテンツの特性やターゲット層を理解したうえで、商品やサービスのデザインを作成していきます。

デザインの作成にあたっては、以下の点を考慮することが大切です。

- ✓ **ライセンス対象のコンテンツの特徴を表現したデザインにする**
- ✓ **ターゲット層のニーズを満たすデザインにする**
- ✓ **ライセンサーのブランドイメージを損なわないデザインにする**

製品の仕様決定

デザイン確定後、製品の仕様(サイズ・形状)を決定します。仕様上の注意点は以下のとおりです。

- ✓ **製品の使用用途や目的を明確にする**
- ✓ **製品の品質や安全性を確保する**
- ✓ **製作コストや販売価格を検討する**

製作工程と品質の管理

ライセンス商品は、エンドユーザー(コンテンツのファン)がクオリティに敏感であり、ライセンサー側でも品質には厳しい目が向けられます。そのため製作工程の全プロセスにおいて、商品がライセンサーの基準を満たすよう品質管理を徹底する必要があります。

試作品の製作とチェック

試作品を製作して、ライセンサーや自社でのチェックを行います。試作品のチェックでは、以下の点を確認することが重要です。

- ✓ **デザインや仕様がライセンサーの要望を満たしているか**
- ✓ **製品の品質や安全性が確保されているか**
- ✓ **製作コストや販売価格が妥当か**
- ✓ **契約上の規定を満たしているか**



ライセンサーと合意したデザイン、仕様、納期に基づき製作

試作品のチェック完了後、ライセンサーと合意したデザイン、仕様、納期に基づき、製品の量産を開始します。量産にあたっての注意点は以下のとおりです。

- ✓ **品質管理体制を整えて、安定した品質の製品を製作する**
- ✓ **納期を守って、製品を納品するためのスケジュール管理を徹底する**

実際の製作工程ではライセンス対象のコンテンツや製品の種類によって、異なる場合がありますが、上記の流れを基本として製作を進めることが一般的です。

ライセンスグッズビジネスの注意点と成功のポイント

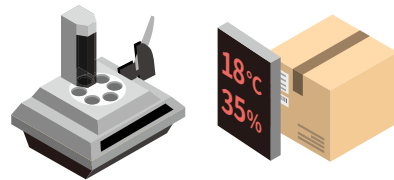
ライセンスグッズビジネスにおける注意点と、それをクリアする方法として、あらかじめ押さえておくべきポイントを解説します。

■ 工数が多い

ライセンスグッズビジネスでは、ライセンサーとの交渉やデザインの作成、品質管理など、通常のグッズ製作よりも多くの工数がかかります。そのため、事前の準備をしっかりと行うことがより重要です。

具体的には以下の点を押さえながら、スムーズな運用を目指す必要があります。

- ライセンサーの要望をしっかりと把握する
- 自社の強みやノウハウを活かした商品企画を立てる
- 品質管理体制を整えて、安定した品質の製品を製作する



■ 短納期が求められるシーンもある

ライセンスグッズの製作工程では、基本的にすべてライセンサーのチェックが入ります。デザイン、製品仕様、試作品どの工程においてもライセンサーは厳しくジャッジし、修正指示が入るため、予定していたスケジュールから大幅な遅れが発生することも少なくありません。

商品発売時期は変更されないため、必然的に最終的な商品製作を、短納期で実施せざるを得ないこともあります。

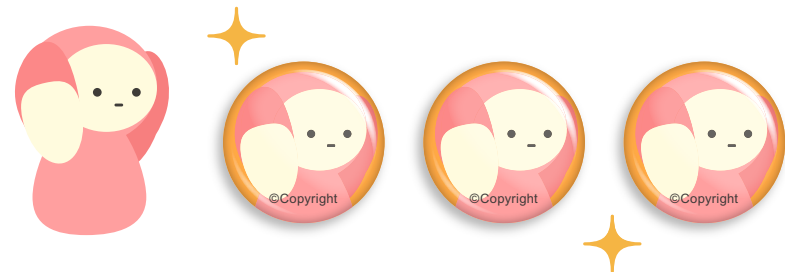


■ 「クオリティ」が重要視される

とくにキャラクターグッズはファンの目がかなり厳しく、少しでもデザインや商品に不備があるとクレームに発展するリスクがあるため、ライセンサーも厳格な姿勢で臨みます。ライセンスグッズは、ライセンサーのブランドイメージを損なわず、最上のクオリティで提供できることが重要です。そのため、デザインや商品の品質には、特に注意が必要となります。

クオリティを保つために具体的には、以下のようなポイントを押さえることが大切です。

- ライセンサーのブランドイメージを損なわないデザインにする
- ターゲット層のニーズを満たす品質の製品にする
- 製作工程で品質管理を徹底する
- 品質基準となる具体的な条件とモデルを明確にし、均一性を維持する



ライセンスグッズ向けの定番ラインナップ

ライセンスグッズ製作を請け負うにあたり、まずは揃えておきたい定番品を各特徴や活用シーンとあわせて紹介します。

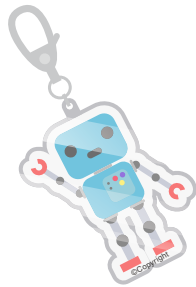
缶バッジ



年代を問わず、またさまざまな場所に付けられることで活用の幅も広いアイテムです。キャラクターデザインが美しく再現でき、バリエーションを多様に作ることができるのがメリットです。

アクリル系グッズやTシャツ、トートバッグなど布系の場合は、製作に専用のプリンターが必要となります。一方、缶バッジであれば、既存の印刷機で対応が可能です。缶バッジマシンは必要ですが、ほかのキャラクター製品づくりとくらべると負担が少なく、初期コストが圧倒的に抑えられるため、始めやすいのが大きな特徴です。

アクリルキーホルダー



キャラクターのイラストやロゴをアクリルに印刷し、キーホルダーに加工したアイテムです。

キャラクターのイラストやロゴを立体的に表現できるため、キャラクターの魅力を存分にアピールすることができます。バッグやポーチなどに付けることができ、普段使いに便利です。携帯電話やタブレットのストラップとしても使用できるため、人気商品となっています。

トートバッグ



日常生活で使いやすいため、幅広い年齢層に人気のアイテムです。

大きさやデザインのバリエーションが豊富で、通勤・通学、アウトドアなどさまざまな用途に使用でき実用性が高いうえ、キャラクターのイラストやロゴを大きくデザインできるのも魅力です。

アクリルスタンド



上記と同様アクリルに印刷し、スタンドに加工したアイテムです。立てることでキャラクターを立体的に表現でき、デスクや棚に飾ることでキャラクターを身近に感じられるため、人気があります。製作する際には、キャラクターのイラストやロゴのサイズやバランスなどを考慮する必要があります。

Tシャツ・帽子



日常生活で身につけるものであり、ユーザーの幅広さが特徴です。そのため、サイズやカラーバリエーションが豊富であることが重要となります。ターゲット層のニーズに合った形状、サイズやカラーバリエーションを用意することで、より多くの人に商品を手に取ってもらうことができます。

ハイクオリティな缶バッジ製作は「バッジマンネット」をご利用ください

缶バッジはライセンスグッズの定番中の定番として、各ユーザー層から根強い人気があります。しかしキャラクターのイメージを損なわないためには、品質の維持が絶対的条件です。高品質な缶バッジづくりを目指すのであれば、バッジマンネットの利用がおすすめです。

■ バッジマンネットとは

**バッジマンネットは、本場USAの高品質な商品を低価格で提供する缶バッジマシン・パーツの専門店です。
独自のこだわりをもった商品により、缶バッジビジネスを力強くサポートし、各方面から大きな支持を頂いています。**

缶バッジを製作する際に必要な機材およびパーツの販売はもちろん、缶バッジの作り方から、マシンのトラブルへの対処法など多岐にわたる情報を提供しています。バッジマンネットは自社で缶バッジ製作ビジネスを行っていないため、販売を行う企業の競合とはならず、惜しみなくノウハウを提供できるのが大きな特徴です。

また購入窓口がECサイトに限定されており、はじめから全商品の価格を公表することで公平性の高い取引を実現しています。商品は主にアメリカを中心と

した海外からの仕入れであるものの、そこに弊社独自の保証やサポートをプラスすることで、より信頼性・確実性の高いサービスの提供を実現しています。現在、バッジマンネットのユーザー数は25,300件超、うち13.2%が官公庁、23.6%が個人、63.2%が法人で、鉄道交通会社・旅行代理店・酒造会社・美術館博物館・マーケティング企業・印刷企業・動植物園・芸能事務所・レジャー施設企業・電力企業・IT企業など多種多様な大手企業・法人が活用している信頼性の高い企業です。

■ バッジマンネットの特徴や強み

バッジマンネットの商品は、本場アメリカ製&自社開発のこだわりラインナップにより、マシンもパーツも高品質水準を保っています。例えばプレス断面の均一性や、安定的なクオリティを保つための良質な金型など、他社に類を見ない細部への配慮が、優れた製品を生み出します。

豊富なパーツの品ぞろえに加えて、徹底した品質管理もバッジマンネットのこだわりです。缶バッジの素材であるブリキは高温多湿に弱いため、常時温度と湿度のモニタリングを行い、巨大サーキュレーターにより空気循環を実施しています。防錆対策として高品質な防錆紙を活用するなど、独自に高い基準を設けた管理を行っています。

缶バッジ製作に特化した専門家としての実績から、品質に厳しいライセンスグッズの知識やノウハウも豊富に保有しています。その知見や強みを活かし、缶バッジビジネスに必要な商品を販売するだけでなく、製作に関する相談やアドバイスといったサポートも積極的に行っています。バッジマンネットのマシンやパーツ、そして缶バッジに関するあらゆるサポート力により、ライセンスグッズビジネスに耐えうる高品質な缶バッジづくりが可能となります。



**缶バッジビジネスのための
お役立ちコラム、
Ebookの無料閲覧も可能です。**

お役立ちコラムはこちら ▶

Ebookはこちら ▶

まとめ

ライセンスグッズビジネスは今後も成長が期待できる有望な分野ですが、権利が絡むため参入するにはそれなりの知識が必要です。ライセンサーのブランドイメージに合わせ、さまざまな条件をクリアしなければならず、製作は簡単ではありませんが、軌道に乗せられればかかる負担以上の大きな利益とビジネスチャンスを得ることが可能となります。

ライセンスグッズにも多種多様なアイテムがありますが、キャラクターグッズの定番である缶バッジには常に大きな需要が見込まれます。ただライセンスグッズとなると一般的なグッズよりも生産機会が多くなり、なおかつ高いクオリティが求められるため、しっかりとした生産体制の整備が必要です。

そこでライセンスグッズビジネスとして缶バッジ製作を視野に入れる場合には、高性能マシン、高品質なパーツに加え、ライセンスグッズビジネスの事情にも精通するバッジマンネットが強力なサポート役となります。

**缶バッジビジネスに関する資料も多数、
用意しておりますので、予備知識としても役立てられます。
ぜひご活用ください。**



<https://www.badge-man.net>

お問い合わせ ▶

資料請求 ▶